

市議会だより

おおまち

170号

平成30年8月1日発行

6月定例会号

平成30年度大町市一般会計補正予算可決
大町市消防団条例の一部を改正する
条例制定について可決

●表紙の写真を募集します！

●みなさんの声をお寄せください！ Mail : g-dayori@city.omachi.nagano.jp

河床から望む黒部ダム観光放水
撮影者：議会だより編集委員会



特集 市議会に関するアンケートを実施します

大町市議会に対する市民の皆様のご意見、お考えをぜひお寄せください。



アンケートの目的と趣旨

大町市議会では、「開かれた議会」を目指し、これまで本会議のケーブルテレビ放送・インターネット中継や意見交換会（議会報告会）の実施などさまざまな議会改革に取り組んでまいりました。

今回、市民の皆さんが議会の活動についてどのように考え、何を望んでいるか把握するとともに、今後議会が取り組むべき課題について調査研究を進めていくことを目的として、皆さんの声を幅広くうかがうアンケート調査を実施することとしました。多くの市民の皆さんのご意見をお聞かせください。

アンケート調査の回答方法

アンケートは、下記の3つの方法でご回答いただけます。

- ① 郵送で回答
 - ▶ 議会だよりにはさんである調査用紙（緑色の紙）に直接回答を記入し、調査用紙を封筒状にしてポストに投函してください。郵便切手は必要ありません。
- ② ファックスで回答
 - ▶ 記入した回答用紙をFAXで送信（大町市議会あてFAX番号0261-22-1223）
- ③ インターネットで回答
 - ▶ 大町市ホームページ>大町市議会>議会アンケートから回答。または右のQRコードからアンケートページにアクセス。（パソコン、スマートフォン、携帯電話で回答いただけます）



宛先・問い合わせ先

〒398-8601
大町市大町3887番地 大町市議会事務局
TEL 0261-22-1139
FAX 0261-22-1223
Eメール gikai@city.omachi.nagano.jp



アンケートにご協力をお願いします

Pick up

議員が ただ 質した 6月定例会

総務産業・
社会文教
委員会での
主な質疑内容に
ついて報告します

総務産業委員会

大町市消防団条例の 一部改正について

Q 消防団員の定年制撤廃で、50歳以上の人も参画できるが、実際の消防活動では、若い団員と行動量等に体力差が生じる。安全性の確保など課題はないか。

A 条例施行後は、公務災害等の補償上、消防団員として位置づけるが、内規により、50歳以上または、幹部経験者であれば、希望により「機能別団員」として活動する。「機能別団員」は、消防団経験者であるので、訓練礼式は免除し、後進の指導にあたる。さらには、火災や災害発生時の初期対応に従事いただく。体力に自信のない人でも、後進の指導には十分活躍いただける。また、火災現場では、ポンプ機械操作等にあたることで、現場での初期対応には、十

分機能を果たす。

初めての人も乗るような できるバス停を

Q 市民バスふれあい号のバス停239か所すべてに路線図を設置することだが、高齢者にもわかりやすい表示となるのか。

A バス利用者から、各戸に配布している時刻表に掲載の路線図が見やすいとの意見をいただいた。その図を拡大し、掲示することを予定しているが、街中で複数の路線が乗り入れている箇所は、この



初めての人も目的地に到着できる、管理の行き届いたバス停に

路線図ではわかりにくいいため、見やすい工夫をしたい。

新免許制度に対応した小型 動力ポンプ付き積載車購入

Q 消防団車両について、運転免許制度の改正により、現行の普通免許でも運転可能な3.5トン未満の軽量化車両を購入することだが、今後の更新計画は。また、既存車両も、若年層の団員が増えれば、現行の普通免許で運転できない車両がでてくるが、その対策は。

A 新免許制度の施行により、各市町村においても対応に苦慮している。当市の車両は、約20年で年次更新している。現団員は、旧免許制度が適用のため、運転は可能である。今後、軽量化車両への更新が進めば対応できる。このほか準中型免許取得を推進する2つの方法がある。

社会文教委員会

大町総合病院199床へ

Q 大町総合病院の病床数を現

在の278床から、今後199床へ減らすことになるが、診療報酬や病院経営に、どのようなメリットがあるのか。

A 地域包括ケア病棟が診療報酬上、有利な届け出が可能になる。また4月の診療報酬改定により、昨年と比較し5000万円から6000万円程度の収益増が見込める。関連記事15ページ

文化財保護の 補助金交付基準は

Q 文化財の保護は、市内のどの団体も何とか努力しながら維持している。補助金交付の基準等について聞きたい。

A 大町市文化財保護事業補助金要綱に基づき、本年度は仁科神明宮本殿や大黒町舞台の保存修理などへの補助金を予算計上している。今まで国・県指定の文化財は、国・県が補助決定したものに限り市も補助をするとしていたが、今年、要綱を改正し、国・県指定の文化財であることを要件に、市独自の判断で補助ができる内容にした。

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



中心市街地活性化を含めた、大町市のまちづくりは

政友クラブ 佐藤 浩樹が問う

市街地活性化の施策は何か

Q 第4次中心市街地活性化計画の前に早急な施策の展開が必要だと考えるが、いかがか。

A 第1次、第2次、また現行の第3次総合計画の中で後継者不足や空き店舗の増加などがさらに進んでいくとの調査結果も出ている。中心市街地は、市としても極めて重要な課題であると認識している。コンパクトシティの考え方に立ち、活性化に努めたいと考えている。

Q 美麻八坂地区のヘリポート設置についての進捗状況は。

A 北アルプス広域消防本部等、関係機関との調整を行い、丸山運動公園が信州大学を中核とした信州ドクターヘリより指定された。いざというときに迅速かつより効果的に活用できるよう関係機関との連携強化を図っていく。

Q 市内企業支援のためにも発注機会を拡大できないか。

A 国、県、及び県内他市の動向なども注視しながら、引き続き地元業者への発注機会確保に努めていく。

Q 将来を見据えて、どのように除雪体制を維持し、進めていくのか。

A 現在も維持管理として支出をしているが、今後は待機費等の負担も考えたい。



冬季間の市民生活のために、シーズンオフを静かに過ごす除雪用重機。



子どもが病気になっても安心して預けられる施設を

日本共産党 松島 吉子が問う

病児保育の早期実施を望む

Q 病児保育については市は以前の質問で「感染症等の予防や医師、看護師、保育士など専門職の確保など勘案し、大町病院での実施を検討している」との答弁であった。県下19市のうち病児保育を未実施なのは大町市、飯山市、小諸市の3市だけで、飯山市は施設を建設中である。新聞報道でも病児保育のニーズの高まりが伝えられている。現在の進捗状況と展望は。

A 設備や機能を備え、医師や看護師等の確保・連携など、大町病院内での実施に向け調整中である。

Q 大町病院の病床数減少で病児保育が十分できるのか。

A 地域ニーズの把握、保育士の確保や感染防止対策、運営経費などを十分検討し、早期に方向を見定めたい。

街路樹や植栽の管理は

Q 街中の街路樹のスペースに外来種の花や雑草が覆い、樹木が枯れたまま添え木だけ残っている所が何か所もある。どこが管理するのか明確にすべきでは。

A 管理は基本的に道路管理者が行うものの、対応方法は一律ではないが、沿線の住民や自治会の意向を聞き、県とも情報を共有し、相互連携を図り対応したい。
その他 子ども食堂の課題や方向性、市営住宅の空き状況と修繕などについて質問した。



きれいに植栽された駅前広場。他の箇所も点検を。



作家名が黒塗りで市民が真相究明できない。自ら公表を

虹と緑の会 大和 幸久が問う

作品製作費適正か検証が必要

芸術祭作品製作費の支払い確認の方法は

Q フラム氏の会社から実績報告者が提出された。28年は作家38名に345万2千円余、29年は作家38名に322万8千円余が支払われたとあり、28年と29年度にそれぞれ作家との同意書が添付されている。

また報告書では、28年には作家一覧表の適用欄に領収書の記載があるが、29年では請求書という記載が44件で、振込記録なし1件というものもある。それぞれ、作家への支払いの検証をどのように実施したのか。また、この報告書の受領責任者はだれか。

A 検査員は芸術祭実行委員会事務局次長であり、実績報告書を検証し受領している。

支払いは一回しか受けていないという作家が複数いる

Q アポイントがとれた複数の作家に確認をした。「同意書に基づく製作費の銀行振込が一度あるが28・29年分2回の振込はない」というもので、フラム氏の会社からの「製作費の二重請求ではないか」という重大な疑義が生じている。市長は全ての情報を公表したうえで、この真相究明を最優先にすべきと思うが実行するかうかがう。

A 請求書に基づいて支払いがなされているか調査する。作家名は公表しない。



残された作品は、どんどん劣化する。維持管理費の負担は市民まかせでよいのか。

一問一答形式で質問する議員1人の持ち時間は20分以内と決められており、行政側の答弁を含めると、およそ50分程度となります。



前回の経験を活かし市の活性化につながる計画を

市民クラブ 大塚 富義が問う

芸術祭の目的はまちづくりか

Q 昨年の芸術祭を通じて市民参加や市民の元気づくりにつながったか。

A 住民参加につながった地区もあったが、いくつかの課題も残した。商店街には大勢の人が来て賑わった。八坂地区の取り組みでは「地域で力を合わせる大切さを教えてもらった」としている。高橋・布施さんなど地元作家の人も高かった。良かった点をアピールし、次回へ生かす取り組みをしないのか。

A 一回実施したことによって具体的なイメージももてた。指摘のような点についても次回に向けてアピールし生かしていく。



八坂地区にある竹を生かし、地域住民の協力により設置されたバンブーウェーブ

Q 次回芸術祭に向けては、市民が芸術を理解したかではなく、地域づくりにつながるかの視点で議論をし、参加や協力を求めるべきと思うが考えは。

A 市民の理解や参加ができるように早めに地元との調整やアーティストとの対応などを考えている。

Q 芸術祭の目的は「市のまちづくり、元気づくり」であるはずが、市民の認識は「まちづくり」でなく、芸術を理解せよ」となっている。まちづくりと芸術の間を埋める努力が必要ではないか。

A 前は暗模索の中で進めたが、今回はやるべき課題が見えた。しっかりやる。



できない、できないという理由は聞きたくありません

市民クラブ 中牧 盛登が問う

実効性を高めるスポーツ計画

Q スポーツ推進計画が思うように進行していない状況について、今後どのように対応するのか。

A スポーツ推進計画の中間年である本年度、全面的な見直しを行う。

Q スポーツ推進計画の実効性を高めるためには、総合型地域スポーツクラブ(大町スポーツクラブ)の育成支援が欠かせないと考えるが、市としての考えは。

A 大町スポーツクラブの育成支援に力を入れる必要があると考える。

Q 大町スポーツクラブを円滑に運営するためには、経営能力を有するクラブ



誰でも一緒に楽しめる

ブマネージャーの存在は欠かせないと考えるが、市としての考えは。

A クラブマネージャーの配置は欠かせないと考えるが、適当な人材や費用が課題となっている。

Q スポーツ推進計画を達成するために必要な予算が計上できないという理由はないか。

A 教育委員会としての検討が足りなかったことで、反省も込めてしっかり検討する。

Q スポーツを地域づくりにつなげていくためには、組織体制や予算等、文化芸術と同等な扱いが必要ではないか。

A 市長部局と教育委員会が共通の課題として連携を強くして取り組む。



生活保護の実態を具体的な数字で明らかにした

堀 堅一が問う

高校生医療費無償化をすべきだ

Q 高校生医療費を無償にするための予算800万円が用意できないのは、情けない話だ。無償化にすべきだ。

A 市では、中学生まで無料だが対象年齢の引き上げに向け、鋭意検討する。

Q 8月より、白馬・小谷村の燃えるごみの受け入れが始まるが「分別は大丈夫か」市民は心配している。また、燃えるごみ袋の中の金属ゴミの混入は大問題だ。金属探知機の導入をすべきだ。

A 両村共に、分別表を全戸配布し、白馬村では英語の分別表も準備している。専門員の配置で分別徹底を図る。金属



ゴミ袋への重金属の混入は「大問題」公害を発生させないために水際対策すべきだ

探知機は有効なので導入に向け検討する。

Q 生活保護給付費の改正による、実態を問う。私の調査では、例として夫婦に小学生の子供2名で保護費総額はおよそ月額21万円にもなる。大町市民の平均年収とほぼ同じ給付にもかかわらず、共産党は「健康で文化的な最低限度の生活が脅かされる」としているが大町市の見解はどうか。

A 生活保護支給額他に、住宅扶助は単身で31800円、2名以上で38000円、医療介護についても保険料及び医療介護にかかる費用の自己負担は無い。学校生活を送るうえで必要な費用も扶助している。各種扶助費も生活扶助費とは別に認定し支給している。よって最低限の生活に要する費用は保証されていると考える。

質問しようとする議員は、「何について、どんな問題意識で」質問するのかを予め通告しています。これは、行政側から噛みあつた答弁(公式の見解)を得るためです。



大町水の日制定は「信濃大町水ブランド」戦略の要

政友クラブ 二條 孝夫が問う

大町水の日 制定を急げ

Q 大町は北アルプスから湧き出す清冽な水により、あらゆる産業で恩恵を受けてきた。近年は電源開発等によって歴史的遺産である奇跡の水路と言つてもいい水路網が完成している。加えて「信濃大町湧水」が4月飲料品の味など優れた製品に対して送られる「モンドセレクション2018」で最高金賞を受賞した。水の恩恵に感謝の意を含め、また市が進める水ブランド構想を内外に発展させるためにも「大町水の日」の制定は急務だがどうか。

A 水の日制定は、市民が地域への誇りや愛着をさらに深め、大町の水が



情報化社会を大きくリードする若者の力を生かせ!

公明党 太田 昭司が問う

情報化時代の 重要な計画

Q 策定中の大町地域情報化基本計画の中で「八坂地区・美麻地区の光ファイバーケーブルの整備」が盛り込まれている。どのような効果が期待できるか。

A 旧大町市域同様、完全な光ファイバー化により、八坂・美麻地区でも2年後の東京オリンピック・パラリンピックが、次世代のテレビ映像規格である「4K・8K放送」で視聴が可能となる。

Q 情報化社会においては、若い発想と若い力、そしてあらゆる世代の知恵を結集していかなければならないと考えるが。市長の考えを聞きたい。



「あさひAIR」はもともと市民に開かれた施設に!

政友クラブ 降旗 達也が問う

AIR事業の 成果と展開は

Q 国際芸術祭実行委員会との統合による信濃大町AIR事業推進協議会の解散理由と今までの成果、今後の展望は。

A 事業の効率化やノウハウの共有を図り、より効果的な事業の推進に努めるため発展的に解散をした。成果としては、国際芸術祭時に「あさひAIR」を活用し参加アーティストの作品制作の側面的な支援をし、地域の魅力の再認識や当市の新たな魅力の発信に寄与できた。今後の事業展開については、第2回国際芸術祭の中間イベントとしてAIR事業を実施するなど芸術祭の開催に向け機運を醸成していく。



大町を潤す奇跡の水路網
ニツ屋にある立体交差する水路

貴重な宝であるとの共通認識につながるもの。また信濃大町ブランド戦略においてもその浸透に大きな効果があると考える。

Q 大町市土地改良区からの「大町水の日」制定要望がすでに2回に渡って出されている。もう待ってはられない。制定に向かつてこの課が中心となり具体的にどのように行動を起こしていくのか。

A 今後、信濃大町ブランド戦略推進委員会などにお諮りし検討していく。方向性が出たなら、「大町水の日」制定は様々な行政分野に広く関わりがあることから、企画担当部署が調整役となり、市全体の取り組みとして対応していく。

その他 市労働行政懇談会と人手不足対策について



情報化時代、そして人生100年時代の「知」の拠点として期待される大町図書館

A 大変重要な視点である。今後も地方創生という大きな目標に向かい、情報化施策をはじめ様々な分野において、引き続き若い世代の柔軟な発想を生かした取り組みを積極的に奨励していく。

人生100年時代の図書館の役割

Q 人生100年時代の今日、生涯にわたって学び続ける「リカレント教育」が求められる。図書館と職員の充実が必須だ。職員がスキルを高めるために研修の機会を増やすことも重要と考えるがどうか。

A リカレント教育のための高度で専門性を備えた教育環境の整備や組織的な支援が求められている。そのために人材の確保や職員研修の充実に努める。



市の負担金で管理をおこなっている、旭町の制作拠点施設「あさひAIR」

Q 市民の負担を考慮し「負担金を減らすことはできないのか。

A 統合により、事業内容の見直し、効率的な運営が図れるよう精査するとともに、事業費についても検討を行う。

Q 「負担金の透明性を明らかにするため交付規則を設けるべきでは。

A 市の「補助金」については、交付規則をはじめ交付要綱が定められているが、「負担金」については、大町市財務規定の定めにより適切な執行を期しているのみである。使途や交付手続きの透明性を明らかにするため、「補助金交付規則」に準じた取扱いの検討など、見直しを図る必要があると考える。

その他 「あさひAIR」について質問した。

用語解説 ①リカレント教育

社会人になってからも、大学や専門学校等の教育機関において学びつづけていく教育のあり方。広義には、生涯学習のことを意味する。

質問しようとする議員は、「何について、どんな問題意識で」質問するのかを予め通告しています。これは、行政側から噛みあった答弁(公式の見解)を得るためです。



松糸道路建設は今において二度とチャンスはない

高橋 正が問う

松糸連絡道路の実現を確実に

松糸道について

Q 4年前大町市は東側ルートを決しました。今回4年前の選定段階まで戻しても取り組むとする県の姿勢に、やる気を感じる。市もこれに呼应し最善を尽くすべきと思うがどうか。

A 市もこの事業における機運の高まりを感じている。このことはいわゆるキックオフになるものと考えている。

Q 新潟県は本年4月糸魚川市内において約11kmのルート帯を正式に決定した。これが、長野県の動きにつながったと考える。市の認識とルートの選定のし直し

についてはどうか。

A 市は平成25年に、市の都市計画マスタープランにおける位置づけや、地域の意見を踏まえて検討する」との県の方針により東側ルートを決定した。今回県は改めて「国の示したガイドラインに基づき、検討を進める。」としている。本年度中に複数のルート案が示され、来年度を目標に最適ルート案が決定されると考えている。

山田桂一郎氏から何を学んだか

Q 観光カリスマの山田先生は、何が一番問題だと言っているのか。

A 「大町市では、観光客の目線に立ったマーケティングが行われていない」とされた。観光客が求めるものや満足度に意識が向いていないことが課題である。



大町市都市計画マスタープランより

松糸道の実現のためには市内ルートの選定でもめてはならない



市民が行政文書を活用できることが必要では

虹と緑の会 栗林 学が問う

公文書を もっと身近に

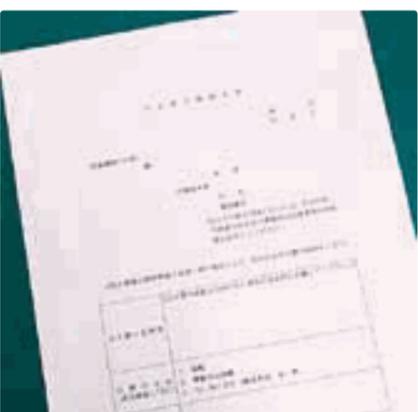
Q 行政活動の意思決定の過程を知ることが、今後の参加・協働の地域づくりに役立つと考える。行政文書を積極的に開示し、地域づくりに活かす方策はないか。

A 「市民参加と協働のまちづくり推進基本指針」で行政情報の開示は市民参加と協働の前提としているが、情報を得た市民の理解と努力も必要と考える。公正で開かれた市政運営と地域づくりに繋げる。情報公開請求の具体的な手順と、公開できる公文書は何かがあるのか存在すら知られていない。請求の仕方等が分かりやすくできないか。

A 各部署に保存している簿冊に索引簿を整備しており、これを閲覧して公文書の特定ができる。公文書の特定するには担当部署の窓口で、知りたい内容を口頭で伝え公文書の特定をすることが合理的と考える。申請手順に関して手引き等は作成していないが、ホームページに掲載している自治体もあるので今後の対応を検討していく。

Q 以前情報公開請求をした際、非公開部分の説明理由には、理解しがたいものもあった。詳しい説明が必要では。

A 情報公開条例において個人情報などを除いて公開することが原則である。非公開情報については様々な種類や性格があり、情報の基準を一律に示すことは困難であるため、詳細は担当課窓口で対応する。



公文書公開請求書、ひな形があればと思う。



移住者の立場で定住促進事業を市民全体に広げよう

神社 正幸が問う

人口目標達成の課題と対策は

Q 人口減少対策は他市に先行して取り組んできたが昨年度は452人の減少である。38年の24000人の目標達成はできるのか、課題は何か。

A 本年4月1日現在の人口は27803人、現在のままでは目標達成は難しいが昨年度の移住は23世帯44名と増加した。転出抑制などが課題であるが移住相談や、最大課題である働く場の確保に、関係団体と協力して取り組み、移住セミナーなど移住促進事業の充実を図る。

Q 移住者にとっては住居の提供は不可欠である。空き家は多いが貸し物件

は足りていない。空き家情報は住民、自治会の協力が不可欠であるが、協力体制の構築と、4年目となる駅前4町と信大との不動産モデル研究事業の市内全体への拡大は。28年より民間事業者に加え連合自治会の参画で空き家対策協議会を組織して総合的に取り組み移住者の要望に沿った情報提供に努め支援する。本年度の共同研究は実践研究や市内広範囲に広げたい。

Q 空き家の片付けに空き家バンクの登録を条件に補助金を設けてはどうか。他の自治体で成功事例もあり、空き家の片付けの動機になり有効と考えるがどうか。

A 空き家バンクの登録には相続や老朽化などの問題もある。他の自治体の事例を参考に効果的な方策を検討する。



市民参加で空き家の片付けに挑戦、定住対策や町の活性化、人口減にブレーキを

多種多様でも個別の特性に応じた支援指導が望まれる



政友クラブ 岡 秀子(おか ひでこ)が問う

発達障がいとの現状、対応と課題

Q 市内の小中学校の発達障がいの児童・生徒の現状と対応及び課題は。

A 昨年10月に実施した調査では、市内小中学校で発達障がいと診断された児童・生徒が161人で全体の8.5%。診断を受けていないが、特別な支援が必要な児童・生徒は、202人で全体の10.6%。合計363人で19%余となる。健常な児童・生徒と混在で学びインクルーシブ教育を進めている。教育支援委員会が保護者の要望を聞き、各学校のコーディネータを中心に、通級教室の活用や学習支援員によるチームティーチングを進めている。心理士等専門

芸術祭の市民意識調査を実施後、次期開催の判断を



日本共産党 平林 英市(ひらばやし えいち)が問う

芸術祭の検証と市の活性化は

Q 長野経済研究所の検証には、疑問と問題点がある。市独自の検証と市民意識調査を実施すべきではないか。

A 専門機関が客観的に経済波及効果を検証している。市民意識調査はしない。国際芸術祭と住宅性能向上リフォーム事業とどちらが、経済波及効果が大きいと考えているか。

A 事業内容が違い比較できない。

Q 住宅性能向上リフォーム事業は補助金の7倍の経済効果があるとしている。31年度も事業を継続するのか。

A 地域経済の動向で検討する。

行政の討論原稿の関与は

Q 3月議会で議案に賛成討論した議員の原稿は行政が保持していた文章と一字一句違いのないものだった。行政は、討論原稿に関与していたか。

A 議会会派から要望されて、原稿を確認した。

Q 部長から指示されて書いたと直接職員から聞いた。行政が関与したのは明らかだ。議員の討論の原稿を市職員が書くということは、議員間の議論を阻害して、議会の独自性を否定するものだ。

A 議員の考え方の論拠として、施策の内容は可能な限り協力する。



放課後等デイサービス事業が実施されている事業所

家の配置や学習支援員の増員が不可欠である。県教育委員会に要望していく。

Q 放課後等デイサービスは様々な障がいのある学童期の児童が放課後や学校休業日に通う療養、居場所機能を備えた福祉サービスである。実態はどうか。

A 市内の民間事業者が、生活能力向上のための訓練、学習支援、居場所支援等を行っている。本年度5月末までに84人の利用である。

Q 適切なサポートや、周囲の理解が得られないことから生じる二次的障害についての見解は。

A 集団生活、社会への適用には、保護者の障がいへの理解が大切で、公的な支援は、早い段階での適切な対応・療育が重要である。



仁科三湖周辺の宿泊施設は、芸術祭の客が少なかった。地域振興につながっていない。

交通網対策特別委員会 視察報告

5月10日～11日にかけて、胎内市および酒田市における地域公共交通の充実強化策と、地域高規格道路の整備促進に向けた取り組みについて、先進事例を視察してきましたので報告します。

新潟県胎内市デマンドタクシー(のれんす号)の運行イメージ



のれんす号運行のイメージ図

小型中型セダン車の運行も実施しています。この運行により、高齢者などの足の確保、交通空白地帯解消、中心市街地の活性化などめざすとしています。

「新庄酒田道路」の整備促進

「新庄酒田道路」は、山形県新庄市から同県酒田市を結び約50kmの地域高規格道路であり、その一部区間の「余目酒田道路」が今年3月に開通しました。国道の慢性的な交通渋滞の解消と災害時の緊急輸送路の確保などが期待され、将来的には太平洋側の宮城県石巻市まで結ぶ計画が進められています。

酒田市では高規格道路の整備促進に向けて、市役所内に専門部署を設け積極的に取り組んでいます。沿線市町村と連携しての国・県への要望活動や、沿線市町村参加のスポーツ大会を運営することにより、地域住民の道路建設促進に対する機運の醸成を図るなど、地元住民と国・県との調整役としての機能を果たしています。



「新庄酒田道路」の開通区間



大町病院
井上病院事業管理者

視点

ベッド数を減らすメリットは

長野県の地域医療構想や大町病院の稼働率などを考慮しベッド数の削減を提案しました。

◆地域に寄り添った病院

200床未満の病院は、「かかりつけ医機能」が加わり、より地域に密着した病院として、「在宅から入院」まで患者さんに寄り添った医療をいっそう充実することができま

◆空きスペースを有効に活用

病床削減後の空き施設の活用は、市民の皆様とのニーズに合わせて、「療養環境の改善や「緩和ケアへの対応」、「病児保育の実施」について早期実施に向けて検討していきます。

◆経営上のメリット

経営面では、「診療報酬の優遇措置」を受けられます。

経営改善の取り組みは

全国的な医師の偏在が問題になり、地方の医師不足が深刻ですが、

大町病院は、市民の皆様とのニーズに合わせて、「療養環境の改善や「緩和ケアへの対応」、「病児保育の実施」について早期実施に向けて検討していきます。



災害対策訓練の様子

大町総合病院

「新改革プラン」に取り組みます

6月定例会で大町病院のベッド数（病床数）を減らして199床にする条例改正が可決されました。この経過と今後の大町病院の経営方針について、井上病院事業管理者の委員会での説明を項目ごとにまとめました。

大町病院は大北地域の 中核病院

粘り強い取り組みで医師を増やし収入の増を目指すことが最も大切です。職員数の見直し、経費の削減、施設整備費の抑制などに努め「新改革プラン」の平成32年度黒字化を目指します。

大町病院は大北医療圏の中核病院としてこの地域の医療を担う重い責任があるとともに、大町市第5次総合計画「だれもが安心して暮らせるまち」の要です。



討論沸騰!!

★point★

討論は、議案等に対して「反対」か「賛成」か議員個人の意見を表明し、他の議員の賛同を求めるために行われます。

なぜ可決なのか、なぜ否決なのか。議会の選択(議決)理由の一つとしてご覧ください。(要約してお伝えしています)

大町市消防団条例の一部を改正する条例制定について (議案第58号)

反対
定年制を一つの目標として頑張ってきた方もいる。また、定年制が入団躊躇の理由を緩和する役割も果たすこともある。消防団員の定年制は残したまま、機能別団員として希望者を募るやり方であれば「見守る」ことが良いと考えられる。
栗林

賛成
消防団員数が減少傾向にあるなか、消防団活動の拡充に向けた取り組みとして消防庁からの指導による全国的な取り組みの一環と認識している。今回の改正は、市民の安心安全のため地域防災体制の中核として日夜活躍している消防団の団員確保維持と地域防災力の向上に大いに資するものと考えられる。
小林

平成30年 大町市一般会計補正予算 (第2号) (議案第62号)

●賛成討論1件

平成30年6月定例会 提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

出された議案・陳情に対しての「賛成は○」「反対は●」で表示

議案番号等	案件	日本共産党	虹と緑の会	市民クラブ	政友クラブ				公	無	無	無	結果						
		松島吉子	平林英市	栗林学	大和幸久	大庭富義	中牧盛登	降旗達也	佐藤浩樹	岡野秀子	勝野富男	二條孝夫		小林治男	太田昭司	堀堅一	神社正幸	高橋正	
議案第58号	大町市消防団条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◇全会一致で可決・承認・同意・採択された案件

議案番号等	議案名等	結果
議案第55号	北アルプス広域連合規約の変更について	同意
議案第56号	市道路線の認定について	可決
議案第57号	大町市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第59号	大町市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第60号	大町市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第61号	市立大町総合病院医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第62号	平成30年度大町市一般会計補正予算(第2号)	可決

次回 9月定例会は 8月28日 開会予定です

6月の定例会の傍聴者は述べ35人でした。



傍聴席は60席

傍聴をご希望の方は議会棟2階事務局までお越しください

傍聴しませんか
皆様のお越しを
お待ちしております

本会議の 生中継

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

🔍 大町市議会 議会中継

あこがき、

今号には、市民アンケート調査用紙が入っています。多くの皆様の声を市議会にお寄せいただきませう。ご協力をお願いします。
市議会だよりも、表紙を飾る写真や「みんなのひろば」など、市民の皆様と共に議会の広聴・広報活動の充実を目指して参ります。
(中牧)

みんなのひろば

市民の皆様の声を議員が取材してつくる「みんなのひろば」です。第2回目は今春市内企業に就職した新社会人へのインタビューです。

- 1 将来の夢は？
- 2 初任給の使い道は？
- 3 大町のいいところは？

取材にご協力いただき
ありがとうございました

北陽建設株式会社

ごとう ゆうた
後藤 優太さん
大町市常盤出身



地域に貢献できる仕事がしたいので土木業に就職しました。将来は多くの免許を取得して地域の安全安心のための工事などで活躍したいです。初任給で家族を食事に誘いました。水がおいしいところがいいです。

昭和電工株式会社 大町事業所 総務課

あかがわ けいしろう
赤川 慶史郎さん
埼玉県さいたま市出身



今は仕事に早く慣れること。将来は尊敬されるおじいちゃんになりたい。初任給で、両親と姉にプレゼントを買い、残りは貯金。大町は自然が豊かで空気がきれいですね。

株式会社 公認大町自動車 教習所

おきな かすみ
沖中 香澄さん
白馬村出身



将来は教習所の教官になるのが夢です。初任給は堅実に貯金しました。大町は働きやすい暮らしやすいのがいいです。

～新社会人に聞く～

黒部観光ホテル

ディピカ
Deepika さん
スリランカ出身



将来はスリランカでゲストハウスを開きたいので、観光業に就職しました。初任給は、将来の夢のために貯金しました。大町は山や水、自然が素晴らしいです。国の友達に大町の良さを伝えたいです。

株式会社 アズミエンジニア 測地課

しばた だいき
芝波田 大輝さん
大町市常盤出身



測量士の国家試験に早く合格すること。初任給で、家族と一緒に金沢へ旅行に行きました。大町は自然が近く、静かに暮らせるのがいいです。

富士電機パワーセミコンダクタ株式会社 大町工場 第二製造課

さとう ともみ
佐藤 友美さん
大町市平出身



早く会社の仕事に慣れること。初任給では、家族と自分にプレゼント。残りは貯金。水がおいしい。それから山がとてもきれいなところです。

市民のみなさん
取材にご協力
お願いします！

